

硬質

弾性

超低  
汚染

超耐  
候性

防錆

# キクスイSPパワーフッ素

*Fluorine  
Selection*

**kikusui**

Kikusui Chemical Industries Co.,Ltd.  
Nihon Seimei Hirokoji Bldg, 19-25 Nishiki  
2-chome, Naka-ku, Nagoya-shi 460-0003, Japan

# キクスイSPパワーフッ素

## 4フッ化フッ素樹脂ハイブリッド 高耐候性で強靱な塗膜に!



**結合力アップ!!**  
**強靱な塗膜を形成します!**



アルコキシシラン基をもつシリコン樹脂をベースにシロキサン結合を形成。さらに高耐候性を発揮する4フッ化フッ素樹脂をハイブリッド化させました。

4フッ化フッ素樹脂塗料は、従来のフッ素塗料にはみられない「塩素フリー」であるため、より耐久性に富んだ強靱な塗膜を形成します。そして長期間にわたり塗装外観を保持し、厳しい環境下においても高い耐候性を実現します。

### ① 超耐候性

シロキサン結合と4フッ化フッ素樹脂をハイブリッドする技術により、超耐候性を実現しました。

### ② 超低汚染性

先端の超低汚染性を備え、親水性を発揮する成分を塗膜表面に局在化。塗装初期から低汚染性を発揮し、長期にわたり美しさを保ちます。

### ③ 高塗着性

先端のレオロジーコントロール技術により驚くほどの塗着力を実現。抜群の隠ぺい性を体験してください。

### ④ 速乾性

速乾型なので工期短縮が可能です。

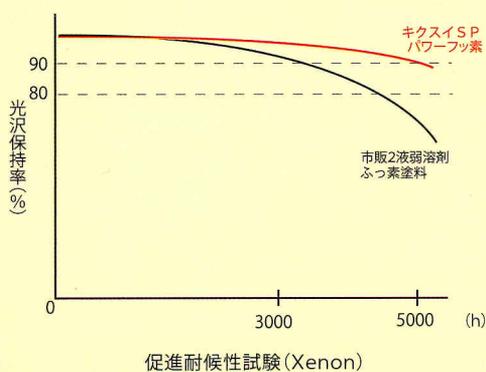
### ⑤ 透湿性

透湿性があり、内部結露の防止が期待できます。

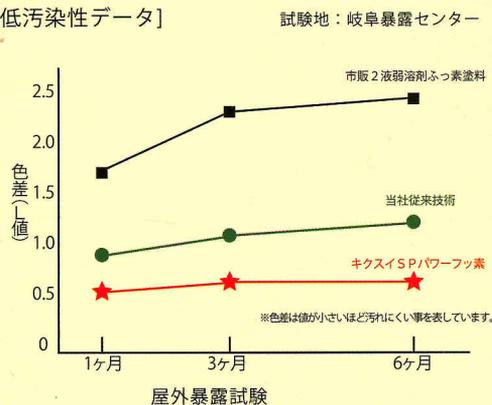
### ⑥ 防藻・防カビ性

美観や健康を損なう可能性のある藻やカビの発生を抑制します。

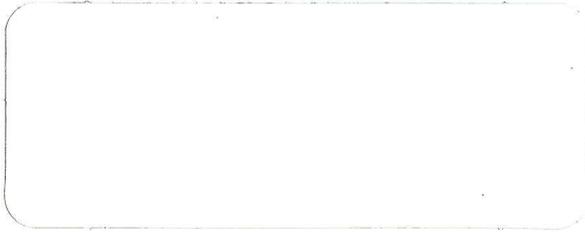
[促進耐候性データ]



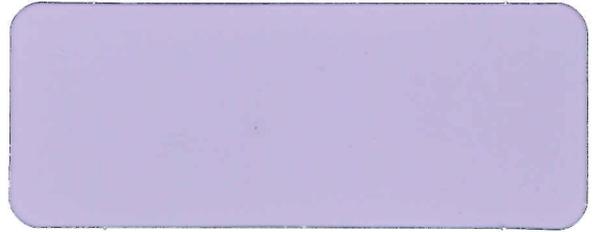
[低汚染性データ]



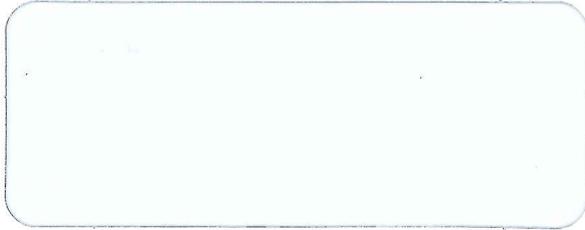
# Color Variation



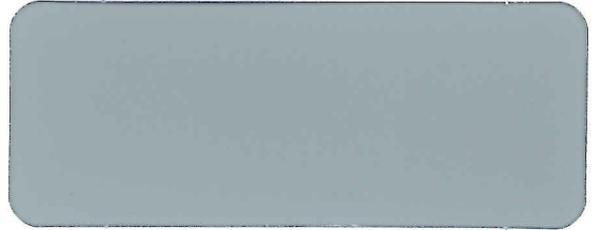
KW170D



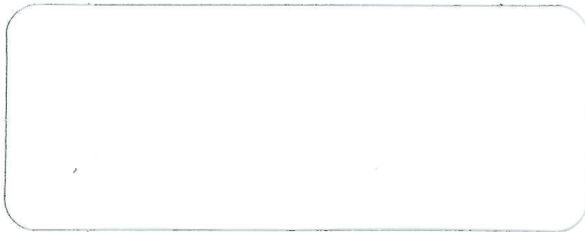
KN002E



KN060C



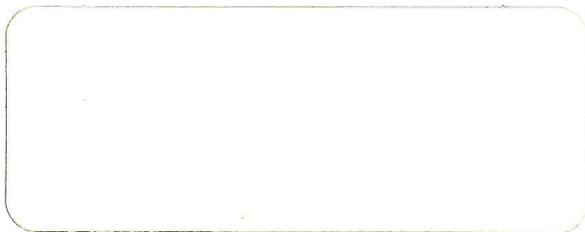
KN060E



KN061D



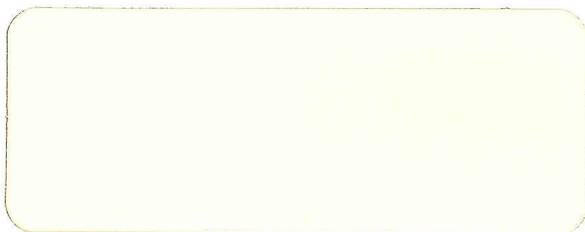
KN061B



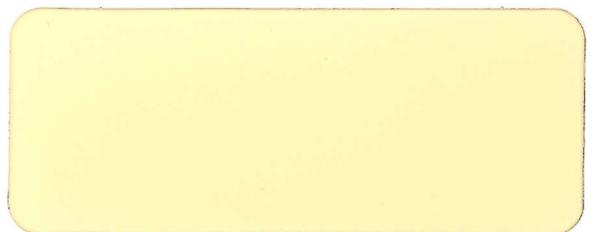
KN025D



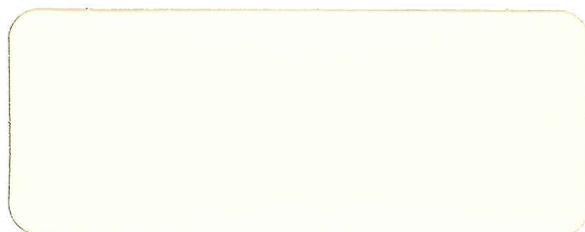
KM119B



KM082D



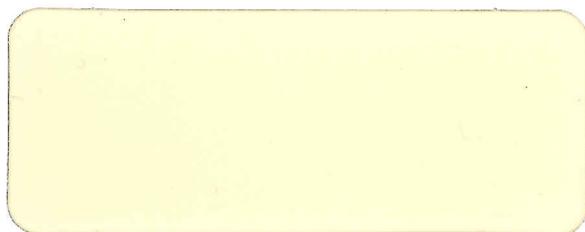
KM086D



KM083D



KB155A



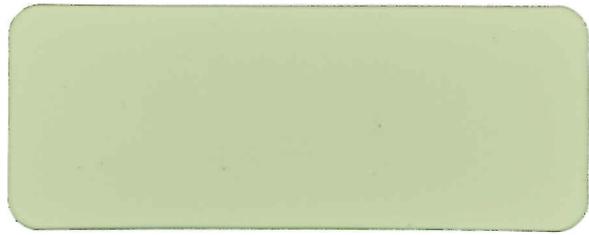
KN037C



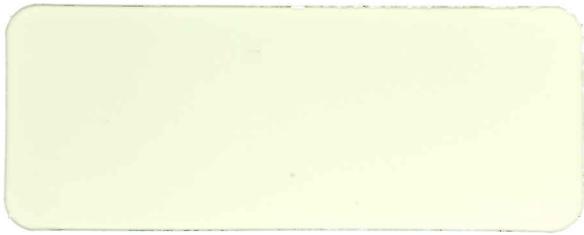
KM085A



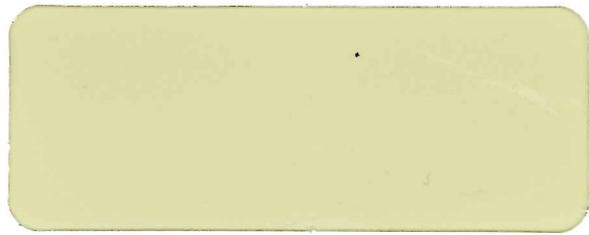
KN024D



KN017A



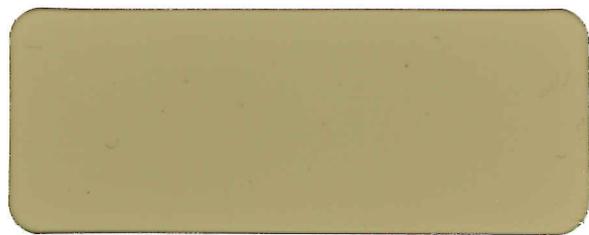
KN019D



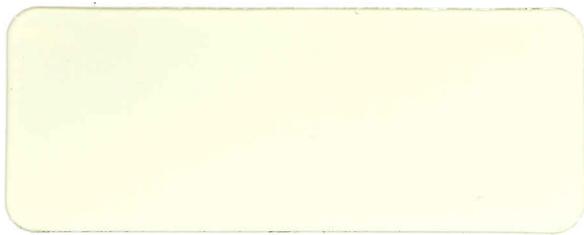
KN026A



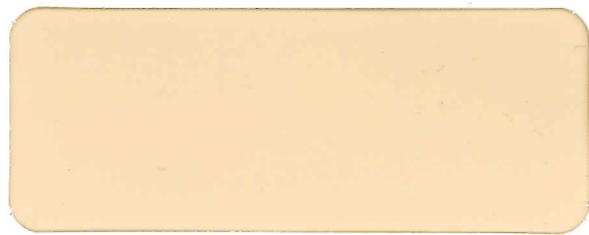
KN026C



KN041E



KN023D



KN048B



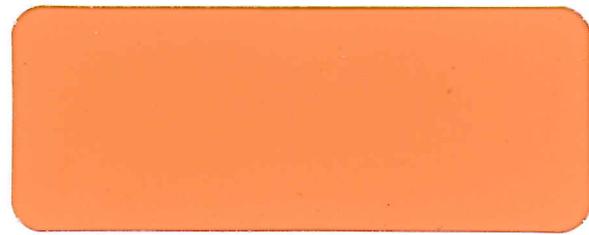
KN042D



KM090C



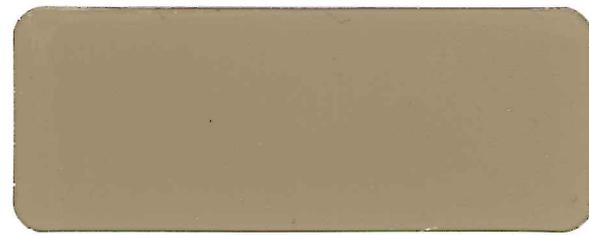
KM087D



KM088A



KN050B



KN057A

- (注) 1. この色見本は印刷のため、現物の仕上がりとは多少違う場合がありますので、予めご了承ください。  
 2. 色により、耐候性に差がある場合もございますので、予めご了承ください。  
 3. 濃色は、材料費が割高になります。  
 4. カラーNo. は弊社管理No. です。  
 5. 色調の有効期限は2023年10月です。

# あなたの大切な住宅を ふっ素塗料で守ります!



オールマイティー ふっ素塗料とは  
塗装現場のあらゆるシーンに対応できる、高耐候性のふっ素塗料です。  
硬化剤を変えるだけで、弾性やさび止め兼用塗料に早変わり。

超低汚染性タイプです。雨だれ汚染にも安全です。  
また、弾性塗膜、シーリング材上への塗装や木部へ塗装する場合、  
弾性が必要ですが、ご心配はいりません。弾性硬化剤を加えるだけで、弾性塗料に早変わり。  
錆が発生しやすい金属下地には、防錆硬化剤を加えるだけで、防錆性をプラス。上塗下塗兼用塗料  
に早変わり。

先端のレオロジーコントロール技術により  
驚くほど滑らかな塗装作業性と驚くほどの隠ぺい力を実現しました。

このように、塗装現場で求められる全ての要望に応える事ができるふっ素塗料です。



ご使用の目的・用途によって組み合わせをお選びください。

## 上塗材

主  
材

●キクスイSPパワーフッ素

※キクスイSPパワーシリコン、キクスイSPパワーウレタン  
もご用意しております。

硬  
化  
剤

選べる硬化剤 (超低汚染性タイプ)

- 硬化剤
- 弾性硬化剤  
シーリングの上や弾性塗膜、木部の塗替えの場合に。
- 防錆硬化剤 ※1  
塗料に防錆効果を付与。鉄扉・鉄階段などの塗替えで、  
既存塗膜に塗付することで防錆効果を発揮。

※1. 発錆部、素地露出部は付着不良となるため、キクスイSPプライマーエポで補修塗を行ってください。  
※2. 硬化剤はすべて、キクスイSPパワーシリコン、キクスイSPパワーウレタンと共通です。

## 下塗材

※下地に合った下塗材をご使用ください。

### ①鉄部・付帯部・木部に

●キクスイSPプライマーエポ (1液さび止め下塗材)  
2液強溶剤形エポキシ樹脂塗料と同等の防錆力です。乾燥性に優れ、条件によりその日のうちに次工程が施工可能です。作業性も良好で手離れも良く工期も短縮できます。弱溶剤可溶形で旧塗膜を侵しにくく、溶融亜鉛メッキにも密着し、目止め効果もあるので木部にも適応可能です。

### ②鉄部・付帯部に

●キクスイSPパワーエポ (2液さび止め下塗材)  
乾燥性に優れ、条件によりその日のうちに次工程が施工可能です。  
亜鉛メッキ、アルミニウムやコンクリート、各種旧塗膜に対して優れた  
付着性を示します。

### ③外壁、難付着下地に

●キクスイSPパワーシーラー  
(2液弱溶剤形エポキシ樹脂系浸透性シーラー)  
弱溶剤形なので旧塗膜を侵しません。安心して使用できる  
外壁用浸透性シーラーです。浸透・固着力に優れているため、  
下地の深部までガッチリと固めるシーラーです。  
無機系や光触媒系下地にも密着します。微細なクラックや  
脆弱層にも下地の深部まで浸透し、しっかり補強。さらに  
複数の付着補強成分により抜群の付着性を発揮します。

	製品名	一般名称	色	艶	ホルムアルデヒド 放散等級
上塗材	キクスイSPパワーフッ素	2液弱溶剤形オールマイティー ふっ素樹脂塗料	淡彩〜濃色	艶有・半艶・3分艶	F☆☆☆☆ NSK-1608008
鉄部用 木部用 下塗材	キクスイSPプライマーエポ	1液速乾弱溶剤形変性エポキシ系 さび止め塗料	ブラウン(赤さび色)・ブラック(黒さび色)・ ダークグレー・グレー・ブルー・ ダークグリーン・チョコタン クリーム・ホワイト(白さび色)	—	F☆☆☆☆ NSK-1608011
鉄部用 下塗材	キクスイSPパワーエポ	2液速乾弱溶剤形変性エポキシ系 さび止め塗料	ブラウン(赤さび色)・ブラック(黒さび色)・ グレー・ホワイト(白さび色)	—	F☆☆☆☆ JPMA-K41008
外壁用 下塗材	キクスイSPパワーシーラー	2液弱溶剤形エポキシ樹脂系 浸透性シーラー	白色・透明	—	F☆☆☆☆

※シーリングや弾性塗膜、木部の上に塗装する際には弾性硬化剤をご使用ください。

施工仕様書 (新築の場合)

[平滑仕上げ]

工程	材料・割合	塗装方法	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、粉塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かむすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清潔な面とします。				
下塗り	下地の種類により下塗材が必要になります。				
上塗り	キクスイSPパワーフッ素 主 材：13.5 kg 硬化剤：1.5 kg 塗料用シンナー A：0~1.5L	はけ、ウールローラー エアレススプレー	2	工程内3以上	53~62㎡/15kg㊦ 0.24~0.28 kg/㎡

※下地の劣化や吸込みが著しい場合や、押出成形セメント板、GRC板、PC板などには下塗りとして「キクスイSPパワーシーラー」を使用して下さい。

※他社のシンナーを使用した場合、分離やタックが残るなど不具合が生じる可能性があるため、使用は避けてください。

※その他の仕様につきましては最寄りの営業所にご確認ください。

用途

内外鋼構造物、外部壁面、木部等

キクスイSPパワーフッ素

15 kg㊦(主材：13.5 kg 硬化剤：1.5 kg)  
3 kg㊦(主材：2.7 kg 硬化剤：0.3 kg)

※硬化剤は通常の硬化剤・弾性硬化剤・防錆硬化剤よりお選びください。

適応下地

鋼材、コンクリート、セメントモルタル、PC板、  
ALCパネル、GRC板、セメント無機繊維板、  
各種サイディング他

キクスイSPプライマーエポ

16 kg/ 缶、4 kg/ 缶

キクスイSPパワーエポ

16 kg㊦(主材：14.4 kg 硬化剤：1.6 kg)

キクスイSPパワーシーラー

15 kg㊦(主材：12.5 kg 硬化剤：2.5 kg)

塗料用シンナー A

16L/ 缶

注意事項 (溶剤形上塗材)

【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH 10 以下で施工して下さい。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白剤「K5クリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後、「キクスイ浸透性プライマーE」や、「キクスイSPパワーシーラー」を使用して下さい。
- 押出成形セメント板、GRC板、ケイ酸カルシウム板などには、下塗りとして「キクスイSPパワーシーラー」や、「キクスイプライマーE-PW」を使用して下さい。
- ALCやコンクリートなどで集灰、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗料「BR # 1.5」等で処理して下さい。
- 無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 着熱されやすい建材(軽重量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)に塗装する場合は、着熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 下地に弾性系塗膜の場合は、弾性系上塗材を使用して下さい。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面が白化する場合があります。施工時の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受けられる可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず霜凍が発生するよう部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。
- 施工時は飛散防止として養生を十分にしてください。
- 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 開缶後は、早めに使用してください。
- 2液反応硬化形の材料の場合は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合は、計量器を用いて行ってください。混ぜ合わせ後の材料は、可使用時間内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈などの条件により変わりますので、注意してください。
- 材料の希釈量は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足は劣化しや腐べい不足、仕上がりムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗布量を確保してください。
- 色、模様は決定した場合は事前に見本板を確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗布量も超える場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様(ブターン)合わせを行ってください。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 傷など補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。
- 下塗材及び上塗材に溶剤系の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 浸透硬化形の材料は、開缶後は空気中の水分と反応しますので速やかに使用してください。また、シンナーにより腐食を行ってください。
- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
- つや調整品は、塗料が分離しやすいため、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。

- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クリアーによる保護塗装を行ってください。
- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠ぺい性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装してください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- シーリング材は可塑剤の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。また、シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜が付着しない場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 改修工事の場合、下地を傷し既存塗膜に膨れ・縮み(リフティング)などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りを行い確認してください。特に、2液反応硬化形弱溶剤系塗料での改修において、既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗膜面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。
- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 硬化剤は、湿気硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 建築用仕上塗料(JIS A 6909) 複層塗料および可とう形改修塗料は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS規格品とはなりません。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:旧MSDS)を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 必要な時間以外は、環境への放出を避けてください。
- 製品の混ぜ合わせは、防塵型シンナーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についている場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 使用後保管する際は無希釈の状態ですっかり密栓して40℃以上の場所では保管しないでください。できる限り早く目に入れてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 塗装場所、取り扱った場所とその周辺には、塗装中、乾燥中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。取扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短期間に引火性の高い蒸気が発生します。注意してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電体や帯電防止の服を着用してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを密栓する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。



本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル  
☎ 022-300-2222(代)

ホームページ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710 関西支店 ☎ 06-7668-5320  
東京支店 ☎ 03-3981-2500 福岡支店 ☎ 092-935-4610  
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200